
枯樹の終焉 【短編ハードボイルド】

イチカ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

枯樹の終焉 【短編ハードボイルド】

【Nコード】

N6162Q

【作者名】

イチカ

【あらすじ】

仕事中にふと立ち寄った街
何故か虚しくなった木漏れ日
いつかは朽ち果てる自分に照らし合わせる

閑静な街である

そう言えば聞こえはいい

新興住宅地と言われるようだが、既に
その響きは風化している

古い巨木に成長した、いや最後の役目に

近い桜並木

桜を散らす暖かな風だが、風そのもの
が余計なものだろう
そっとしておいてくれと

この街には、風さえも平穏を乱すものなのか
整った古い家並
苔むした石垣

息の詰まるような新緑の香り
どの家にも歴史を感じさせ、来るものに
威厳を発している
いや生命を謳歌することすら否定している

木々の切れ間から木漏れ日に漂う軒を見る
強面の老人が今にも顔を覗かせる錯覚に陥る
このまま桜の古木とともに朽ち果てるのだろう

この街の発展は、わたしが生まれた昭和の時代
40年前である

高度成長期と呼ばれた頃だ

この街を取り巻くように、更に新しい街が

できた

40年後

新しい街も、同じように枯れていくのか

そして、このあたりはどうなっているのだろう

枯れ草の中に立つ、枯樹と倒木

わたしもこの枯れ草で静かに眠るのであろうか

無数の老いた視線に押され、わたしは立ち去った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6162q/>

枯樹の終焉 【短編ハードボイルド】

2011年10月8日17時16分発行